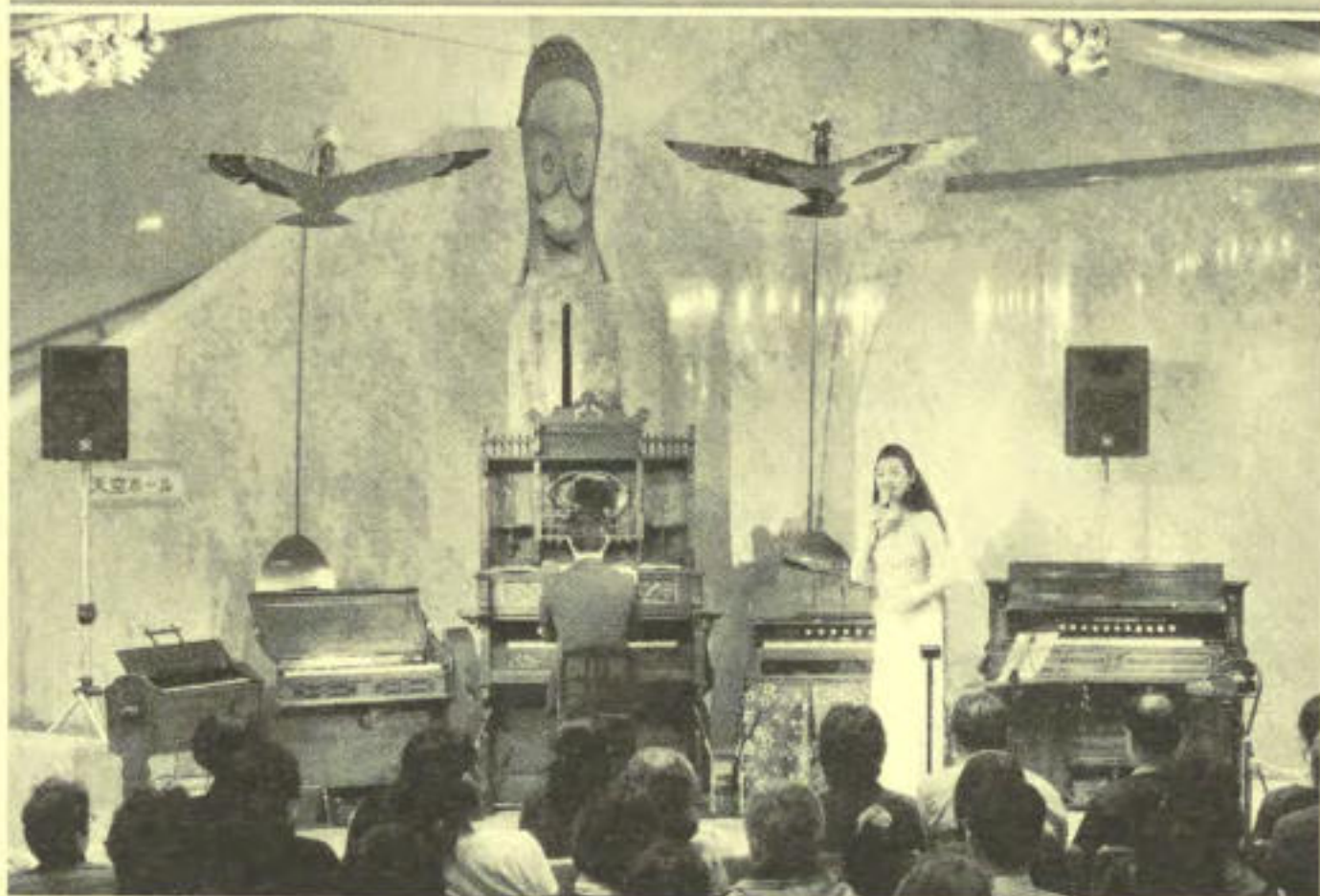


浜松の楽器作りの原点はここにある！  
 昨日・今日・明日～リードオルガンに夢をのせて～



浜松市制 100 周年を記念して、昨年 12 月 14 日（水）午後 7 時から天空ホールで行われた第 124 回レクチャーコンサートは、懐かしい足踏み式リードオルガンのコンサート。浜松市に本社を置く世界最大の西洋楽器メーカーであるヤマハ株式会社は、明治 21 年（1888 年）に山葉寅楠（1851-1916）が設立した山葉風琴製造所がその始まりですが、風琴（ふうきん）とはオルガンのこと。つまり浜松の楽器作りの原点はこの足踏み式リードオルガンなのです。

当時は、キリスト教会や学校の唱歌教育で中心となる楽器はリードオルガンでした。特に山葉製のリードオルガンは、外国製に比べて低価格で品質も良かったことから日本中の学校で使われました。昭和 40 年代まで、この足踏み式リードオルガンは全国の学校で使われていましたが、その後はモーター式リードオルガンやピアノにその地位を譲ります。現在足踏み式リードオルガンは日本では製造されていませんが、博物館には明治・大正・昭和のリードオルガンが数十台所蔵されています。

コンサートでは、日本人が手本としたアメリカ製のリードオルガン（エスティ社 1891 年）と山葉製リードオルガン（明治末～大正）が使われました。演奏は京都を中心に活躍されているオルガニスト鈴木開（すずきかい）さんと、

ゲストヴォーカルに浜松ゆかりの芸術家である鈴木重子（すずきしげこ）さん。

コンサートはクリスマスの季節ということで J.S. バッハの「もろびと声上げ」で始まりました。オルガンは 1891 年アメリカエスティ社のオルガン。当時の中上流階級が応接間に置いた美しいオルガンです。パイプオルガンとは一味違う温かな心休まる音色が響き渡りました。エルガーの「愛の挨拶」、日本の童謡メドレーのあと、鈴木重子さんが加わって「ふるさと」（文部省唱歌）「浜辺の歌」（成田為三）「故郷の人々」（スワン・河）（フォスター）「アニー・ローリー」（スコットランド民謡）「サムワン・トゥー・ウォッチ・オーヴァー・ミー」（ガーシュイン）「アメイジング・グレイス」（賛美歌）を熱唱。オルガンの音色と歌声が見事に溶け合いました。最後は「きよしの夜」を客席も加わって歌いました。

リードオルガンは単なる楽器ではなく、そのおかげで明治以来日本の庶民が教会や学校で西洋音楽を摂取できた文化装置・文化財でもあります。どれほど多くの人々がリードオルガンで歌を歌い、明日を夢見たことでしょう。今ではもうビジネスの音楽シーンにはめったに登場することのない楽器ですが、楽器博物館はこの貴重な文化財をこれからも大切にしていきたいと思えます。

## 市内中学校との共同授業「ガムランを通して世界の文化を知る」



インドネシア・ジャワ島の伝統楽器「ガムラン」を通して世界の文化に興味を持ってもらおうという国際理解教育特別授業を、市内の私立聖隷クリストファー中学校と共同で行いました。この授業では、単に楽器の演奏体験をするだけではなく、楽器が生まれた国の地理や歴史、伝統芸能、宗教、生活など、楽器を取り巻く環境も学び、楽器とそれを演奏する人々についても知ることを目指しています。まずは、学校で各グループごとに地理、芸能などのテーマに沿って事前学習を行います。そして、博物館での授業では「インドネシアの人々とガムランのお話」と「楽器博物館の展示室にある世界の楽器たちの観察」という2つのテーマで学習を1日かけて行いました。事前学習で調べたインドネシアの影絵芝居の皮人形「ワヤン・クリ」の実物やインドネシアの人々の生活の写真を見たり、実際にガムランの演奏体験をしました。生徒たちは最初不思議な音色に戸惑っていましたが、授業が進むにつれてとても楽しそうに演奏していました。インドネシアの文化を深く体験したことでしょう。

共同授業「ジャワ・ガムランを通してインドネシアを知ろう」  
 日時：平成23年11月25日（金） 9:30～15:00  
 会場：楽器博物館展示室  
 参加校：聖隷クリストファー中学校1年生32人  
 講師：梅田徹（当館学芸員）

### レクチャーコンサート 「北欧のきらめき ノルウェーのラングレイク」



ラングレイクはノルウェーの伝統的民族楽器のお琴です。細長い木の箱に10本程度の弦が張られ、牛の角でできたつめで弦をはじいて演奏します。演奏は「スーダン・デュダン」のお2人で、ノルウェーのダンス音楽や牛の乳搾りの時に歌われる労働歌などが演奏されました。ラングレイクだけでなく、ギター、口琴、フィドルといった楽器の演奏もあり、バリエーション豊かな演奏を楽しみました。2人の歌声のハーモニーに、ラングレイクの清らかできらめくような音が重なり、会場が澄んだ空気につつまれました。

日時：平成23年11月19日（土） 18:30～20:00  
 会場：楽器博物館天空ホール  
 出演：「スーダン・デュダン」 マーリット・カールベルク、  
 アンデシュE. ロイネ 入場者：51人

### レクチャーコンサート 「静寂の音響 クラヴィコードの世界」



クラヴィコードは、16～18世紀にかけてヨーロッパで広く使用された鍵盤楽器です。弦を小さな金属片で押し上げて音を出します。チェンバロよりもはるかに小さな音です。オルガニストであったバッハやモーツァルトも愛用していました。今回は、オルガニストで日本を代表するクラヴィコード奏者でもあるフェリス女学院大学教授の宮本とも子さんに、当館所蔵のクラヴィコード（リンドホルム製作、1788年、ストックホルム）で、バッハの作品をはじめ18世紀の曲を演奏していただきました。多くの古い鍵盤楽器に囲まれて、静けさの中に響く小さな音に聴衆は耳を傾けていました。

日時：平成23年12月3日（土）18:45～20:20  
 会場：楽器博物館第3展示室  
 出演：宮本とも子  
 入場者：47人

国際古楽コンクール〈山梨〉優勝者コンサート  
イヴニングサロン「マザランの贈り物」



昨年5月に開催予定であった第25回国際古楽コンクール〈山梨〉は東日本大震災のため中止になりましたので、第17回コンクールの優勝者である野澤知子さんのチェンバロを楽しまでいただきました。共演はコルネット（ツィンク）の上野訓子さん。「ベルガマスカによるソナタ」「フランスのフォリアあるいはドミノ」「コルネットのためのソナタ」などフランスとイタリアの作品を演奏。長らくフランスで活動され近年日本に本拠を移された野澤さんの優雅な演奏と、コルネットの響きの調和を楽しみました。

日時：平成23年11月12日（土） 18:30～19:30  
会場：楽器博物館天空ホール  
出演：野澤知子、上野訓子  
入場者：42人

イヴニングサロン  
「ドーヴァー海峡の向こう側」



ヨーロッパ大陸とイギリスを隔てているのがドーヴァー海峡。大陸から見てその向こう側のアイルランド、イギリスには、バロック音楽が今も息づいています。今回のコンサートでは、今までと違った視点からヨーロッパ各地の様々なタイプの作品を新しい響きでお届けしました。アイルランド民謡である「ダニー・ボーイ」や「サリー・ガーデンズ」など23曲を、アイリッシュフルート、リコーダー、ホイッスル、チェンバロ、アイリッシュハーブ、コンサーティーナ、パウロンの様々な組み合わせで演奏しました。各曲の合間には、守安功さんと平井さんが曲の紹介やその曲にまつわるご自身のエピソードを楽しくお話しされ、会場には笑い声が響き渡っていました。

日時：平成23年11月26日（土） 18:30～20:00  
会場：楽器博物館天空ホール  
出演：守安功、平井み帆、守安雅子 入場者：47人

イヴニングサロン  
「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ」



ヴァイオリニストの戸田薫さんをお招きして、J.S. バッハの「無伴奏のためのパルティータ」第2番ニ短調と第3番ホ長調を楽しみました。この曲はヴァイオリン1台のために作曲されていますが、同時に4本の弦を鳴らして和声のように響かせるなど、1人で伴奏まで表現しなければならない大変な難曲です。またそれだけではなく、バッハ特有の精神的な深みがあることなどからヴァイオリニストにとっては特別な作品になっています。第2番ニ短調では終楽章に特に有名な「シャコンヌ」があり、会場はバッハならではの奥深い雰囲気になりました。

日時：平成23年12月7日（水） 19:00～20:30  
会場：楽器博物館天空ホール  
出演：戸田薫  
入場者：72人

イヴニングサロン  
「電子オルガンとオペラアリアの夕べ」



浜松出身の2人の若手演奏家によるコンサート。電子オルガンの鈴木亜美さんは1999年インターナショナルエレクトーンコンクール・クラシック部門の覇者。ソプラノの柳澤利佳さんはイタリアでの数々のコンクールに入賞の実力派。エレクトーンオーケストラサウンド伴奏で聴く「樹木の陰で」（ヘンデル「セルセ」より）、「貴方は私のカルロの胸に」（ヴェルディ「群盗」より）ほかオペラの名アリアに酔いしれました。エレクトーンソロの「木星」や「タイースの瞑想曲」も絶品。2011年最後の楽器博物館コンサートは、アンコールで「スタンド・アローン」「アメイジング・グレイス」「きよしこの夜」を歌い、東日本大震災犠牲者へのご冥福と明日の復興を祈りました。

日時：平成23年12月23日（金） 19:00～20:00  
会場：楽器博物館天空ホール  
出演：柳澤利佳、鈴木亜美 入場者133人

## 佐藤竜さんからジャズ資料が寄贈されました



浜松市在住のジャズ研究家で音楽講師の佐藤竜さんから電気ピアノとジャズ関連のレコード・書籍等のコレクション約 2000 点を当館に寄贈していただきました。1975 年ごろに作られたフェンダー・ローズ社（アメリカ）の電気楽器「ローズ・ピアノ」や、今では絶版となっているスウィングジャーナルの創刊号が含まれる大変貴重なコレクションです。佐藤さんは戦後外国人向けのラジオ放送を聴いてジャズに没頭し、歴史の研究や演奏活動を行ってきました。現在でも地元の講座でジャズの楽しさを伝えています。佐藤さんは「後世に残しておきたいから」と寄贈を決めてくださいました。ピアノは館内に展示し、レコードと書籍は 2 年ほどかけて整理したあと公開する予定です。

## 当館コレクション CD 新発売

各界から好評をいただいている、当館オリジナル CD に新たな作品が加わりました。今回は、チェンバリスト中野振一郎さん渾身のデュプリ全集完結編、シリーズ 37「デュプリ全集Ⅱ」です。このアルバムではヴァイオリンに上野美科さんを迎え、華やかなプログラムになっています。18世紀に生きた、ロココ文化そのものと言える作曲家デュプリの楽曲を、18世紀バリの名工ブランシェ二世が製作した当館所蔵のチェンバロで演奏しています。ロココ文化を代表する優雅この上ない音楽をお楽しみください。

当館ショップ (TEL 053-451-0300)、Amazon.jp、国内 CD 販売店で好評発売中



## ◆これからの催し物

- 展示室ガイドツアー 毎日曜日 展示品の解説  
※催し物により変更もあります。
- 展示品の演奏デモンストレーション 毎日 1 時間毎  
チェンバロや 19 世紀のピアノなどのデモ演奏
- 企画展「写真で見る・ガリファの音楽と踊り」  
1/4 (水) ~ 2/5 (日)
- レクチャーコンサート  
「森の響き・ヴァルトホルン」  
1/21 (土) 14:00 音楽工房ホール  
出演：塚田聡、小倉貴久子、桐山建志  
「フラメンコ〜ギターと歌と踊りの恍惚」  
1/25 (水) 19:00 音楽工房ホール  
出演：鈴木尚、阿部真、大塚友美  
「木のラッパ〜セルバンとホルネット〜」  
2/3 (金) 19:00 天空ホール  
出演：橋本晋哉、濱田芳通、西山まりえ  
「驚異の鐘流打楽・サムルノリ」  
2/18 (土) 14:00 音楽工房ホール  
出演：李昌燮、サムルノリ
- 講座  
「アフリカ民族音楽紀行」  
1/14 (土)、3/3 (土)、3/10 (土)、3/17 (土)  
いずれも 14:00 ~ 16:00 楽器博物館展示室  
講師：江波戸昭  
「楽器の中の聖と俗」  
1/24 (火)、2/7 (火)、2/21 (火)  
いずれも 18:45 ~ 20:15 楽器博物館展示室 講師：西岡信雄  
「音楽セラピー みんなで輪〜ドラムサークル〜」  
1/29 (日) 14:00 ~ 16:00 研修交流センター  
講師：ロビン・ロイド
- ワークショップ 「韓国の伝統太鼓 “チャンゴ” を演奏しよう！」  
2/19 (日) 18:00 ~ 20:00 楽器博物館展示室  
講師：リ・チャンソプ

## ◆博物館日誌

- 11/3 (木) 文化の日 無料入館日 入館者：872 人
- 11/12 (土) イブニングサロン  
「マザランの贈り物」 18:30 天空ホール  
出演：野澤知子、上野剛子 入場者：42 人
- 11/19 (土) 第 122 回 レクチャーコンサート  
「北欧のきらめき〜ノルウェーのラングレイク〜」  
18:30 天空ホール  
出演：スーダン・デュダダン 入場者：51 人
- 11/26 (土) イブニングサロン  
「ドーヴァー海峡の向こう側」 18:30 天空ホール  
出演：守安功、平井み帆、守安雅子  
入場者：47 人
- 12/3 (土) 第 123 回 レクチャーコンサート  
「静寂の音響・クラヴィコードの世界」 18:45  
天空ホール  
出演：宮本とも子 入場者：47 人
- 12/7 (水) イブニングサロン  
「無伴奏ヴァイオリン・バルティータ」 19:00  
天空ホール  
出演：戸田薫 入場者：72 人
- 12/14 (水) 第 124 回 レクチャーコンサート 浜松市制 100 年記念  
「昨日・今日・明日 リードオルガンに夢をのせて」  
19:00 天空ホール  
出演：鈴木開、鈴木重子 入場者：135 人
- 12/23 (金) イブニングサロン  
「電子オルガンとオペラアリアの夕べ」 19:00  
天空ホール  
出演：柳澤利佳、鈴木亜美 入場者：133 人

### 利用案内

常設展観覧料：大人 400 円 高校生 200 円  
中学生以下・障害者・高齢者 (70 歳以上) は無料  
開館時間：9:30 ~ 17:00  
休館日：毎月第 2・4 水曜日 (祝日の時は翌日)、年末年始、  
その他施設点検等のための臨時休館日

### 浜松市楽器博物館だより

平成 24 年 1 月 10 日発行 No. 67  
編集 浜松市楽器博物館  
〒430-7790 浜松市中区中央 3-9-1  
TEL 053-451-1128 FAX 053-451-1129  
E-MAIL wakuwaku@gakkihaku.jp  
URL <http://www.gakkihaku.jp/>

お知らせ：「浜松市楽器博物館だより」は、ホームページからも見る事ができます。また、ホームページでは最新のイベント情報も紹介しています。ぜひご覧ください。